

カトリック河原町教会だより

2016年12月

主イエスの御降誕をともにお祝いしましょう



2016年河原町教会 クリスマス

クリスマスチャリティーコンサート	12月18日 (日)	14:30
クリスマス市民の集い	12月24日 (土)	18:30
主の降誕夜半ミサ	12月24日 (土)	21:00
主の降誕ミサ	12月25日 (日)	7:00・10:30 12:00(英語ミサ)

絵:「受胎告知」フラ・アンジェリコ作(1440年前半/サン・マルコ美術館)

「いつくしみの扉」は閉門されても ~御父のようにいつくしみ深く~

「いつくしみの特別聖年」は、11月20日の「王であるキリスト」の祭日に閉幕します。11月13日10時半から大塚司教とチェ神父の共同司式による「いつくしみの扉」閉門ミサが行われました。司教は、「この特別聖年を通していただいた、神のいつくしみに気づき、しっかりと受け止めましょう。そして、これからの生活の中でも“御父のようにいつくしみ深く”あり、神の愛を力強く生きていきましょう」と語られました。

ミサの中で、前日から西院教会において「教区青年の集い」に参加していた青年たちが、「分かち合い」の中で深めた「気づき」を発表しました。

(写真提供: 京都教区広報委員会)



闇の中

私たちは今、待降節を過ごしている。待降節とは、闇の中を歩む時である。

今日の世界は、闇に包まれている。多くの命が、否定され、無視されている。貧困や飢餓、テロだけではない。人びとをつなぎ、生きる喜びを分かち合うためのインターネットが、命を傷つけ合うための手段となっている。生きるための仕事、人を死に追いやっている。人の命を守るために働いている人たちは、疲れきっている。

そして、私たちは、こうした闇を直視すること、闇の中を歩く自由を奪われている。多くの人々が、暗闇の中を歩きながら、スマートフォンを見ている。スマートフォンの光の中で歩いている。実際は、顔しか照らされていないのに。自分のまわりは、暗闇なのに。

さらに、多くの人々は、目先のこと、自分のことし



洛東ブロック担当 一場修 神父

か考えられないほど、追いつめられている。毎日の生活が便利になればなるほど、余裕がなくなっている。立ち止まって考えることもできないほど、追い立てられている。時間がかかることが、悪いこととみなされている。

暗闇を歩くために、私たちは目をあげなければならない。暗闇は、ゆっくり歩くところである。考えながら歩くところである。時々立ち止まって、まわりで何が起きているか確かめながら歩くところである。

この待降節、闇の中をしっかりと歩んでいきたい。私たちの光であるキリストは、闇の中で輝く。この光は、私たちの顔だけでなく、すべてを照らす。すべての命を照らす。キリストという光に包まれるようになるために、今与えられている闇の中をしっかりと歩んでいきたい。ゆっくり、時間をかけて歩んでいきたい。

ミサで祝福 ～七五三の子どもたち おめでとございます～

11月6日10時半のミサで、七五三を迎えた9名の子どもたちが一場神父から祝福を受けました。メダイと千歳飴を手渡された子どもたちは笑顔いっぱいでした。いつも神様に守られますように！



11月2日「死者の日」に～諸死者追悼ミサ～

11月2日はカトリック典礼暦で「死者の日」です。死者の永遠の安らぎのために祈る現在の「死者の日」の起源は、998年にさかのぼります。フランス・ベネディクト会クリュニー修道院において、この日を帰天したすべての信徒のための記念日と定めたことに始まり、世界の教会全体へと広がっていきました。

河原町教会でも毎年11月2日に追悼ミサを行っています。今年も、この一年間に帰天された方々の写真を並べ、モンロイ神父司式によって、すべての死者と生者の連帯のうちにミサが行われました。



11月6日/衣笠教会で教区物故者追悼ミサ

11月6日午後2時から洛北ブロック衣笠教会において「教区物故者追悼ミサ」がささげられました。大塚司教、花井神父、瀧野神父、北村神父の共同司式によるもので、聖堂いっぱいに会衆が集い、それぞれの想いをもって死者のために祈りをささげました。この日、河原町教会侍者と教会聖歌隊がミサの奉仕をしました。



中高生会 秋の遠足報告 ～福知山教会へ

中高生会では、10月16日(日)に「いつくしみの扉」が開かれている福知山教会と、福知山城へ遠足に出かけました。中高生3名とリーダー6名で、京都駅から特急で約80分、福知山へと向かいました。

福知山教会では、小立花神父様をはじめ教会の皆さんに温かく迎えていただき、いつくしみの扉から聖堂に入って主日のミサに与りました。ミサの後、お茶とお菓子をいただきながら、小立花神父様から福知山教会のことや、京都教区北部ブロックのことなど、いろいろなお話を聞くことができました。

教会を出て福知山城の近くで昼食をとった後、お城を見学しました。以前に中高生会では教会史を勉強していましたので、明智光秀や細川ガラシャ、また丹波の八木城主だった内藤如安(ジョアン)のことなどに思いを馳せながら見学して帰路につきました。楽しく実り豊かな遠足の一日をいただいた恵みに感謝いたします。

(教育部:奥埜さと子)



「第37回ウォーカーソン」 11.3 土曜学校からの報告

土曜学校では、毎年ウォーカーソンに参加する少し前に、支援先と関わりのある方を招いて、どのようなところに献金を送るのかを知るための「勉強会」を行っています。今年は、支援先のひとつ「バンラデシュご飯基金」の支援に関わっておられる、精神保健福祉士の武山世里子さんからお話をうかがいました。

「バンラデシュご飯基金」とは、世界中に150ほどある「ラルシュ共同体」(=障害のある人となない人が、宗教の壁を越えて祈り、支え合いながら暮らす家)の一つである「バンラデシュのラルシュ」への食費支援のことです。武山さんは、世界最貧国と言われるバンラデシュの「ラルシュ」での活動経験があり、バンラデシュと「ラルシュ」のことをご自身の体験から話してくださいました。

子どもたちは熱心にお話を聞き、バンラデシュのお友だちがどんな生活をしているのか、今何に困っているのか、また、彼らが神様によく祈っていることなど、たくさんのお話を聞くことができました。

10月23日、30日の7時と10時半のミサ後にウォーカーソンのスポンサー集めをしましたが、約130名の方が土曜学校のスポンサーになってくださいました。当日は、キム神父様、小学生9名、中学生3名、幼児2名、保護者12名、リーダー7名の計34名が参加し、楽しく元気に歩きました。教会の皆さまのご協力に感謝いたします。

(教育部: 奥埜さと子)



バンラデシュ“まめ知識”



面積…日本の約4割
人口…1億5940万人 (2015年調)
主都…ダッカ 政体…共和制
民族…主にベンガル人
宗教…イスラム教が人口の約90%
を占める (キリスト教は0.3%)
一人当たりのGDP(=国内総生産)
…約1,200ドル
(日本=約3,250,000ドル)

[参考: 外務省HP]



河原町教会11月6日評議会議事録要約

司祭団から=①南部地区司祭会議開催。適正配置に向けた歩みは順調である。②来年の「洛東ブロック司教訪問」は伏見教会の予定。③11/27「洛東ブロック青年のためのミサ」への多数参加の呼びかけをお願いします。

報告事項=洛東ブロック会議(10/22):①平和旬間行事、司教訪問の報告②ブロックでの典礼への取り組み(合同ミサ、ブロック典礼研修会等)を検討③各小教区の活動報告と来年度短期計画の報告

各部会報告=**(1)典礼部**=①英語ミサ参加者数増加につき英語版「聖書と典礼」の増刷を要検討②10/23「永代納骨者追悼ミサ」は約100名参加**(2)財務部**=10/23部会内容:①2017年度予算案の提出締切りは11/20②次年度5部会提出予算案を11月部会で検討③教会維持費未納・滞納者の名簿整理の結果、名簿に未記載の納付者判明。名簿の不備を修正する。**(3)教育部**=**①土曜学校**:①10/23ウォーカーソンのスポンサー計126名(計181,800円)②12/10終業式**②中高生会**:12/24クリスマスパーティー予定**③信徒養成**:「主日の福音を読む集い」(毎日曜9:30~10:15)**④青年**:①11/12~13「教区青年の集い」(教区青年センター主催)開催。13日は当教会「いつくしみの扉」閉門ミサに参加し聖書朗読・答唱詩編等奉仕予定②11/27・14:30「ブロック青年のためのミサ」と交流会を予定**⑤キリシタン研究会**:①10/22福知山教会からの信徒巡礼に対応②11/27京都キリシタン研究会主催「帰天会員の追悼ミサ」を予定**⑥ザビエル訪れ会**:新名簿未完成のため訪問活動休止**(4)施設管理部**=①クリスマス飾り設営用に2mの脚立購入を検討②新聖堂建立50周年に向け前庭カラー舗装の塗り直しを検討中**(5)広報部**=ウェブサイト上の「教会用語」に関する解説付加の提案は司祭了承後に実施予定

行事予定=4ページ行事予定欄に記載

協議事項=**(1)2017年度役員選挙**:①選挙管理委員長は駒井茂一氏②2017年度選出者は3名**(2)クリスマス実行委員会**:①12/18「チャリティーコンサート」の受付は「ぶどうの会」②「クリスマス市民の集い」司式は大塚乾隆助祭③次回委員会11/12**(3)新聖堂建立50周年記念行事**:①記念行事のキャッチフレーズを募集中②次回委員会11/12

その他=①右近列福式105名参加予定(車椅子使用者2名)バスの手配を検討②「いつくしみの特別聖年」終了のため、ミサ前の祈りを新たに決める。③聖堂後ろ小部屋の整理を実施予定

[祈りの言葉]

あなたの僕の魂に喜びをお与えください。
わたしの魂が慕うのは、主よ、あなたなのです。
詩編 86・4

◇ 2016年12月・2017年1月の行事予定 ◇
(1月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
12	4	日	評議会12月例会10:30ミサ後 2017年度教会役員選挙投票日 宣教地司祭育成の日
	8	木	無原罪の聖マリア
	11	日	ぶどうの会ミニバザー 10:30ミサ後
	18	日	河原町教会主催 クリスマスチャリティーコンサート 14:30
	24	土	クリスマス市民の集い 18:30 主の降誕夜半ミサ 21:00
1	25	日	主の降誕 ミサ 7:00・10:30(司教ミサ)・12:00(英語ミサ)
	1	日	神の母聖マリア 元日ミサ 7:00・10:00 世界平和の日
	8	日	主の公現 評議会1月例会 10:30ミサ後
	18	水	～25日 キリスト教一致祈祷週間
	28	土	洛東ブロック会議(山科教会)
	29	日	村上透磨神父霊名(トマス・アキナス1/28)のお祝い10:30 ミサ 教会美化デー カトリック児童福祉の日

「ぶどうの会」手作りミニバザー開催のお知らせ

日時：2016年12月11日(日) 10:30ミサ後
教会前庭で手作り品等の販売をします！

献金：熊本地震被災者支援として
～ご協力をよろしくお願いいたします～



「幼子のような信頼」

マリー・テレーズ・ド・スピラン(1834～1889年)
[援助マリア会創業者、1946年列福]

私は神に対して、
最も優しい母に抱かれた子どもの信頼を持っています。
神において、神によって、私は何ひとつ心配しません。
現世においても、永遠の生命においても、
神こそ私に、また私の愛する人々に、
すべてをお与えになるであろうということを
期待しています。



(霊性センター”せせらぎ”HPより)

カトリック河原町教会主催 熊本・東日本被災地支援

クリスマス チャリティーコンサート

12月18日(日) 14:30開演 (14:00開場)

河原町教会聖堂 / 入場料:1,000円 (小学生以下無料)

[出演]

- ★女性合唱団 ミルテンクランツ
指揮：成毛 敦・ハープ伴奏：山本 真帆
- ★ハープ独奏 山本 真帆
- ★混声合唱 河原町教会聖歌隊
指揮：東 朝子・オルガン伴奏：桑山 彩子
- ★パイプオルガン演奏 桑山 彩子



河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日 19:00～20:00 一場 神父

【山科教会】 毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】 毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場 神父

【桃山教会】 第1・2木曜日 19:30～20:30

一場 神父

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30～10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。
どなたでもどうぞ。

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

12月15日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

カトリック河原町教会だより 2016.12

編集:カトリック河原町教会 広報部 担当司祭:一場 修

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック